

第30回 市政e-モニターアンケート 「市民力・地域力について」 最終結果

【テーマ】市民力・地域力について

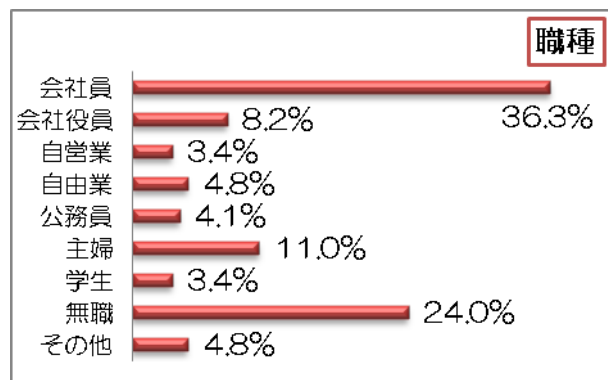
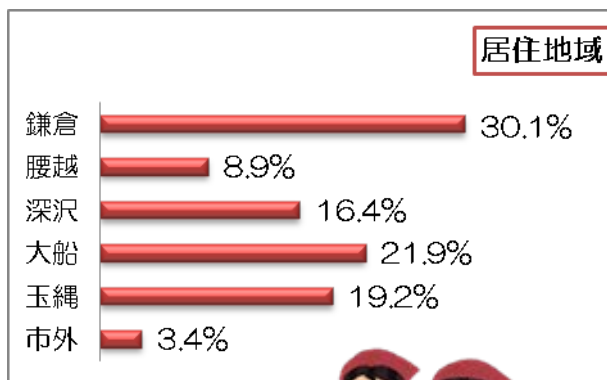
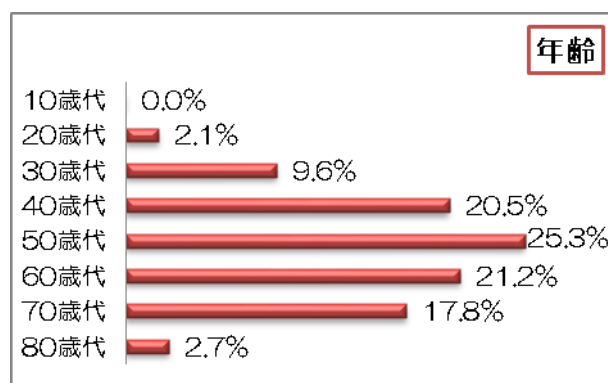
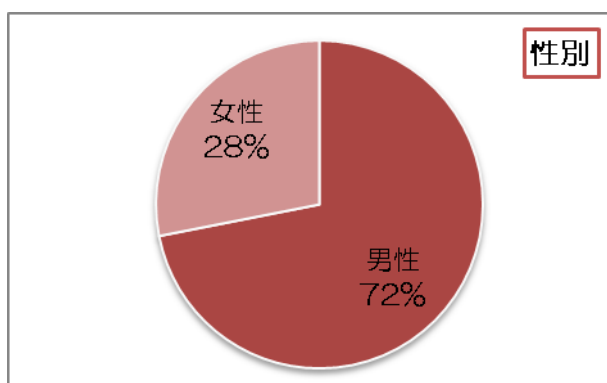
【目的】市では、地域のことは自らの力で解決しようとする「市民力・地域力」を生かした市民自治を「第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画」の推進に向けた考え方のひとつに位置づけています。

市内では、「市民力・地域力」を生かした取組が継続的に行われておりますが、日ごろ皆さんが地域での活動についてどのようなお考えをお持ちで、どのような活動を通じて地域とつながっていらっしゃるかお聴きし、今後の地域コミュニティや地域活動への取組の参考とさせていただきたく、アンケートを行います。



- ◆ アンケート送信日 : 平成28年1月6日（水）
- ◆ 実施期間 : 平成28年1月6日（水）
~平成28年1月20日（水）
- ◆ 送信者数 : 372 名（着信者数 360名）
- ◆ 回答者数 : 146 名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 40. 6%（前回より +2. 7ポイント）

【今回の回答者の基本属性】

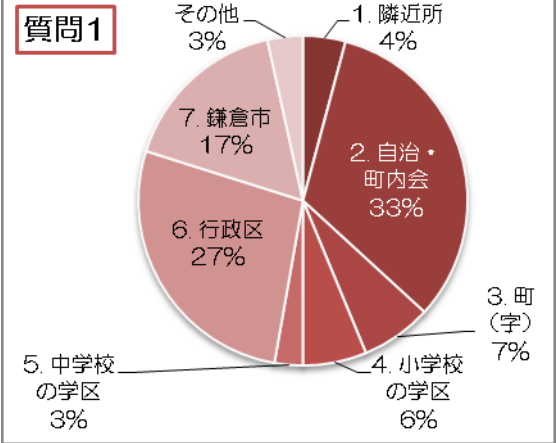


【質問 1】（必須）「地域」と聞いてイメージする範囲について、もっともよくあてはまるものはどれですか。

1. 隣近所	6 名
2. 自治・町内会	48 名
3. 町（字）	10 名
4. 小学校の学区	9 名
5. 中学校の学区	4 名
6. 行政区（鎌倉・腰越・深沢・玉縄・大船）	40 名
7. 鎌倉市	24 名
その他	5 名

※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- 旧鎌倉市街地
- 鎌倉市及び逗子市・藤沢市・茅ヶ崎市・横浜市の一部
- テーマによって異なる
- 自治・町内会ならびに鎌倉市の自分の活動範囲。



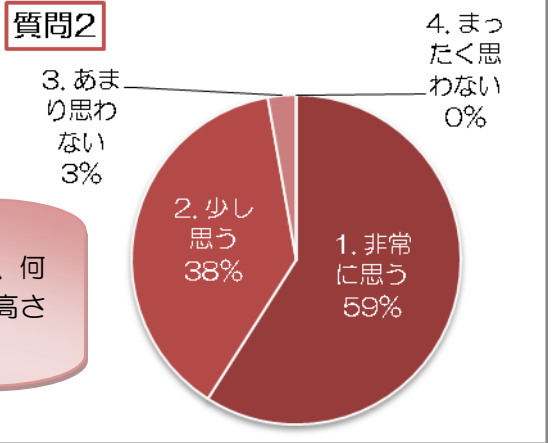
【地域のつながり推進課から】

「地域」と聞いてイメージする範囲には、普段活動されていると思われる範囲から、行政区や鎌倉市などの大きな範囲など、ばらつきがあることが分かりました。



【質問2】（必須）お住まいの「地域」を良くしたい、「地域」のために何か役に立ちたいと思いますか。

1. 非常に思う	86 名
2. 少し思う	56 名
3. あまり思わない	4 名
4. まったく思わない	0 名



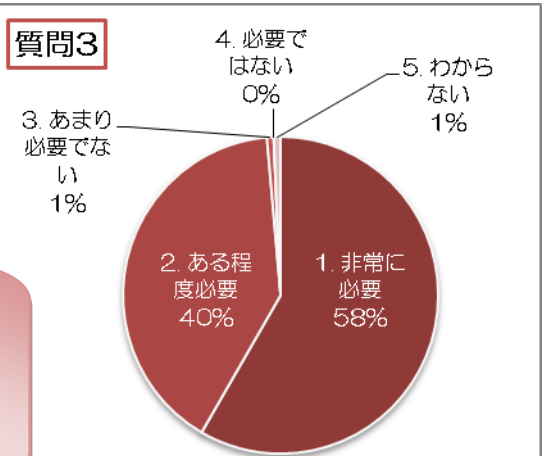
【地域のつながり推進課から】

ほとんどの方が「地域」を良くしたい、何か役に立ちたいと思っており、意識の高さが感じられます。



【質問3】（必須）市内各地で防災・防犯や子どもの見守りなどの活動が行われていますが、市民の皆さんの知識や経験を生かす、市民主体によるまちづくりは必要だと思いますか。

1. 非常に必要だと思う	85 名
2. ある程度必要と思う	59 名
3. あまり必要でない	1 名
4. 必要ではない	0 名
5. わからない	1 名



【地域のつながり推進課】

まちづくりには、市民の皆さんの知識や経験が生かされる必要があると多くの方が思っていることが分かりました。

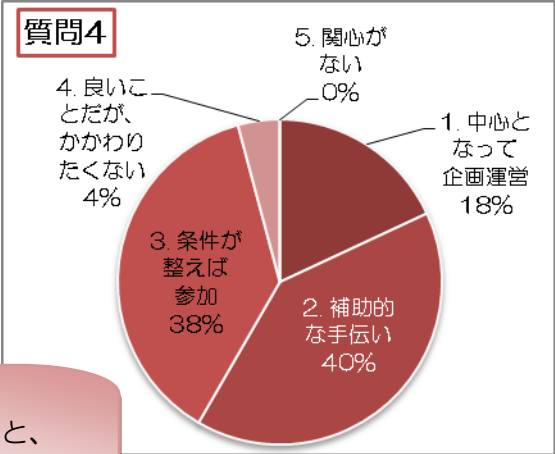


【質問3-1】（必須）【質問3】で3・4とお答えになった方にお聞きします。「あまり必要でない」、「必要ではない」とお考えになっているのはなぜでしょうか。

1. いざとなれば自然に対処されるものだから、あえて特別な活動はしなくてよい	0 名
2. そもそも「まちづくり」は、市民ではなく行政（役所）が行うべき	1 名
3. 行政（役所）が主体となり、その協力のもと地域活動を行えばよい	0 名
4. 市民主体によるのは理想ではあるが、現実には難しいと思う	0 名
5. 地域のことに関心はあるが、自分がかかわりたくない	0 名
その他	0 名

【質問4】（必須）防災・防犯や子どもの見守りなど、地域の活動に参加する場合、あなたはどのようにかかわりたいと思いますか。

1. 中心となって、企画や運営などをしたい	26 名
2. 活動の準備など、補助的な手伝いをしたい	58 名
3. 家族や友人と一緒に参加できるなど、条件が整えば参加したい	56 名
4. 地域の活動を行うことは良いことだと思うが、かかわりたくない	6 名
5. 地域の活動には関心がない	0 名



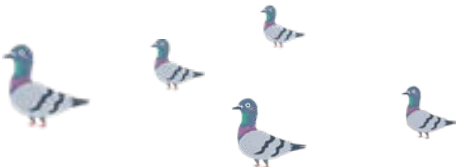
【地域のつながり推進課】
条件が整えば参加したい方も含めると、地域の活動への参加について、前向きに考えている方が多いことが分かりました。

【質問4-1】（必須）【質問4】で4・5とお答えになった方にお聞きします。「地域の活動を行うことは良いことだと思うが、かかわりたくない」、「地域の活動には関心がない」とお考えになっているのはなぜでしょうか。【複数選択可】

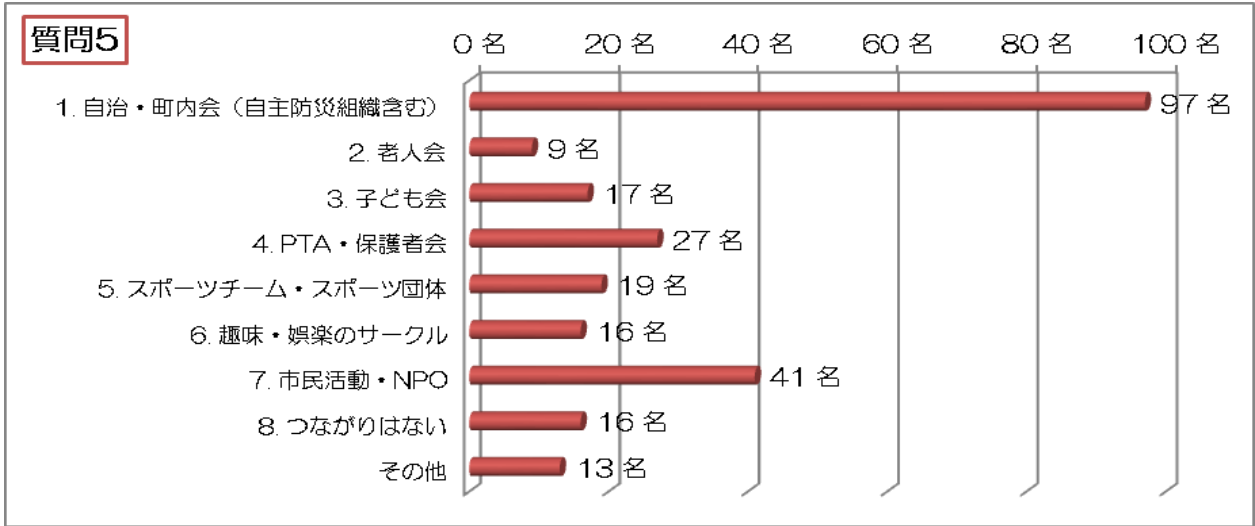
1. 地域活動をするメリットがない	0 名
2. どんな活動をしたらいいのかわからない	2 名
3. 地域の団体のことがよくわからない	1 名
4. 地域の活動はやりたい人たちに任せておけばよい	0 名
5. 参加することに負担を感じる	3 名
6. 地域の人たちとかかわりを持ちたくない	0 名
7. 会費や参加費を払いたくない	0 名
8. 地域活動する時間がない	2 名
その他	3 名



- ※「その他」の意見（一部の意見は、【質問9】へ集約しています。）
- 実活動以外の打合せ・準備をとくに負担に感じます。
 - 地域活動を担う人たちは70歳前後で、地域や個人についての意識が、現役世代と大きな隔たりがあります。良くやってくださっているのは分かりますが、正直言って、その指揮下で「下働き」はとてもできないです。



【質問5】（必須） 日ごろ、お住まいの「地域」とどのような活動を通じてつながりがありますか。【複数選択可】



※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- マンション管理組合、町内会などの委員。回覧板等。
- 民生委員活動を通じて。
- ビーチクリーン。
- マンション内の住民交流会。祭の睦会。
- 教養センター、学習センターの講座に参加。
- 職場が市内なので、職場との関係を通じての関わりもあります。
- 鎌倉法人会。カマコン



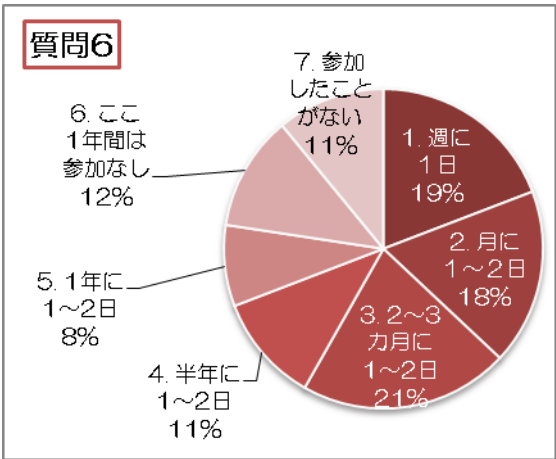
【地域のつながり推進課】

「自治・町内会(自主防災組織含む)」のほか、「市民活動・NPO」などの活動を通じて地域とつながっている方も多く、日ごろ活発に活動に関わられていることがうかがえます。



【質問6】（必須） ここ1年間で「地域」での活動にどのくらい参加していますか。

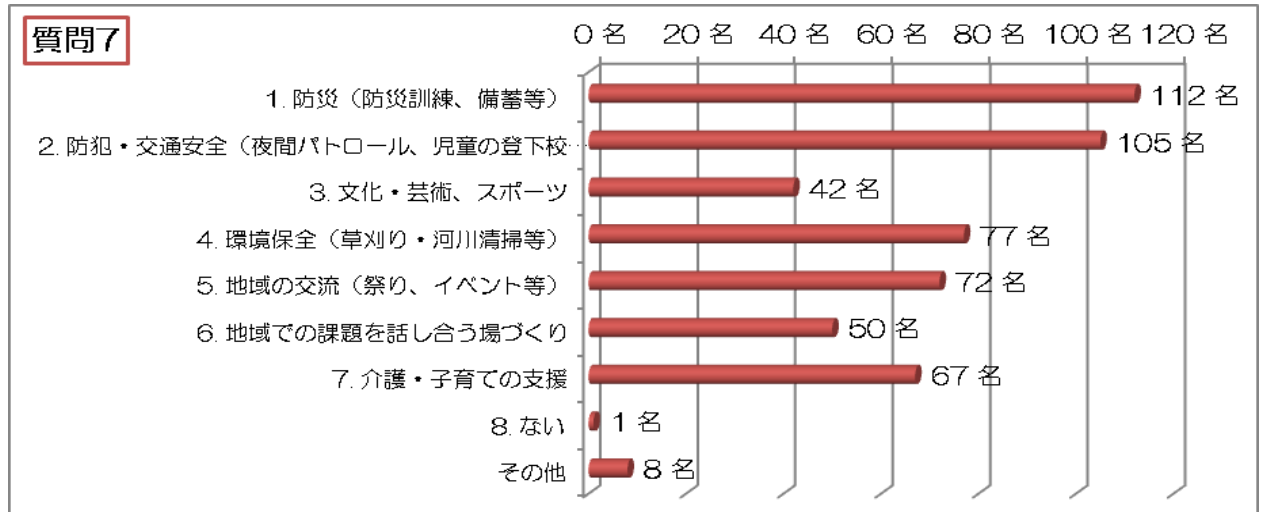
1. 週に1日程度（以上を含む）	28 名
2. 月に1～2日程度	26 名
3. 2～3 カ月に1～2 日程度	31 名
4. 半年に1～2 日程度	16 名
5. 1 年に1～2 日程度	12 名
6. 以前は参加していたがここ1 年間は参加していない	17 名
7. 参加したことがない	16 名



【地域のつながり推進課】

日数に幅はありますが、多くの方が継続して「地域」での活動に参加されていることが分かりました。

【質問7】（必須）お住まいの「地域」で取り組むことが大切だと思われるものは何ですか。【複数選択可】



※「その他」の意見（一部の意見は、【質問9】へ集約しています。）

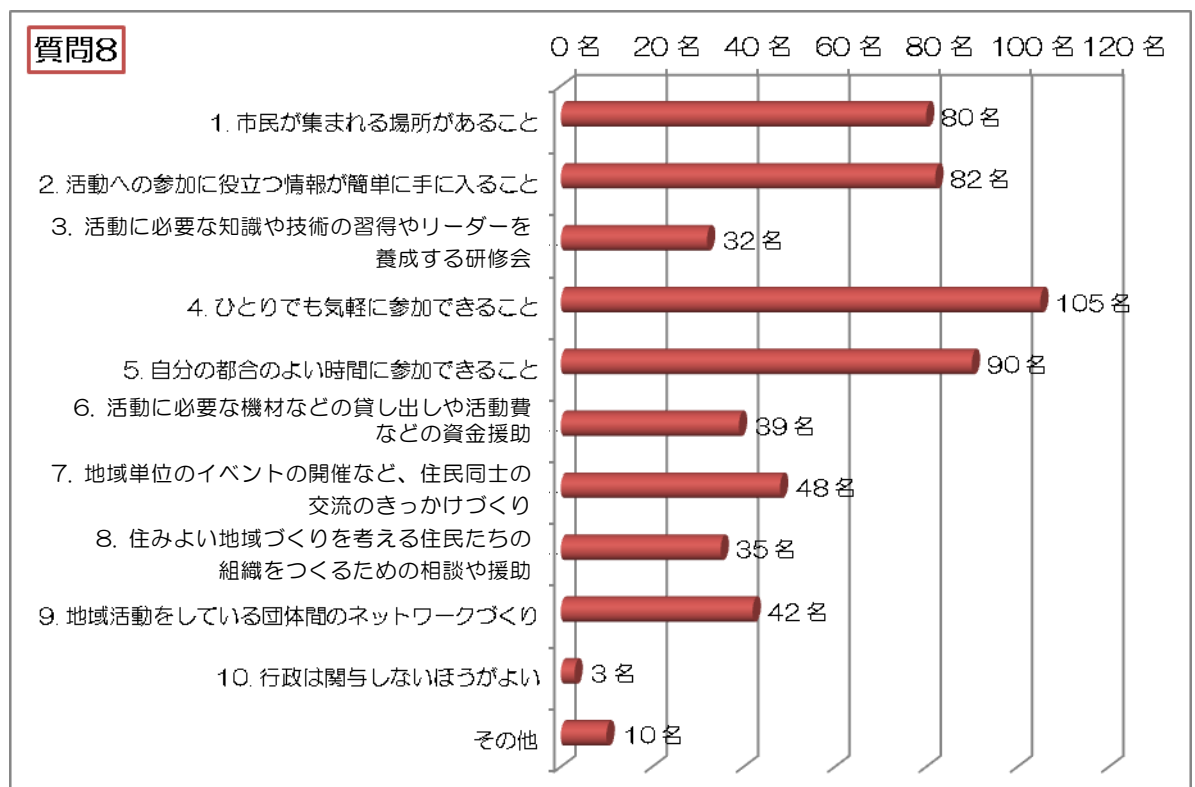
- 市民の代表が行政で、そこでカバーできない範囲を市民活動で取り組む必要があると思う。ただし、防災面につながり維持のための活動は必要と考える。
- 住んでいる町内の価値を上げる運動：例1 電線を纏めて美しくする（地中化が望ましい）。例2 花いっぱい運動。例3 公園に付加価値をつける運動（老人、親子、子どもが各々楽しめる。また美しくもある）。
- 近隣住民（相互）による高齢者の見守り活動。
- 空間放射線量、土壌汚染の測定。
- 個々が元気になる場作り。
- 交通環境（公共交通の利便性）。



【地域のつながり推進課】

「防災（防災訓練、備蓄等）」
「防犯・交通安全（夜間パトロール・児童の登下校時の見守り等）」など安心して暮らせるまちづくり以外にも、ほとんどのテーマについて、「地域」で取り組むことが大切とされていることが分かりました。

【質問8】（必須）「地域」での活動に参加する場合に、どのようなことが整えば参加しやすいと思いますか。【複数選択可】



※「その他」の意見（同様のご意見は集約しています）

- 自分の行動範囲（気軽にアクセスできる範囲）の中に、様々な活動がしやすい場所があること。
- 現役世代が参加して良かったと思えるような仕掛けと、「やってくれてありがとう」というシンプルな交流ができる場と中心人物が必要。
- 以前、市長を囲む懇談会（？）に参加したが、数十人の参加者のうち数人の特定の人が長弁舌を振るい、他の参加者がシラけてしまうのを見た。地域の活動には必ずそういう勘違いした人たちが出て来るので、一般の人が参加したいと思う環境を行政が関与して整えてほしい。
- やはり町内の誰か知っている方からのお誘い。そのような活動の中心となる方への行政からのサポート。
- 鎌倉市民憲章の啓蒙がとても重要。役所も市民協働を謳っているなら、その積極的な姿勢を態度で示すべきでしょう。方法が分からないなら専門家を外部から招致すべきでは？
- 「地域の活動」の募集要項が要ると思います。
- 利権を排除した自治会。
- 地元の商店街に人々と協調した集会が必要だと思います。
- 地主・寺院等利益相反者の制約除去・協調の為に行政の積極的関与。



【地域のつながり推進課】

場所や情報の提供のほかに、活動に参加するきっかけを望んでいる方が多いことが分かりました。構えることなく、気軽に活動に参加できるような仕組みも必要であり、これからの地域での活動を支援していく上で取組を進めていきたいと考えます。

【質問9】「市民力」「地域力」を生かしたまちづくりに関するご意見がございましたらお願いいたします。

【課題と提案】 ・ 市民と行政	● 「言うは易く」の課題であると思う。老若男女とりわけ者であっても何らかの得意なことをお持ちの方が多くかと期待している。その掘り起しをいかに当局と市民が手を取り合えるかを考え、実施の具体化を図れないものか。分野は様々多岐だと思う。 ● 活動する場所と活動できるリーダーがおり、自立して活動ができるようにする。立ち上げ時は準備に必要な資金援助が必要な場合もある。 ● 地域のためには、まわりまわって自分のためになることを一人でも多くの市民が実感できるよう、できる人ができる時にできる事を気軽にできる仕組みづくりが大切。 ● 地域力を生かすには、自治会だけでは限界がある（例：避難路）この様な会合には市の職員も参加して、市のできる範囲、自治会のできる範囲を検討して、いかに早く実行に移せるかを決めていく必要があると思われる。 ● 現時点での地域活動の主体が超高齢化しており、現役世代の参加が必要。そのリクルートに行政も真剣に頭を使う必要がある。 ● 住民の帰属意識、定住性などは鎌倉という土地柄、とても高いと思われます。そのような好条件を活かして、さまざまな分野で経験のある市民を、例えばパートナー職員のような形で行政内でもっと力を発揮してもらうなども、地域力、市民力の有効活用になるのではないのでしょうか。 ● 防犯・防災・介護・子育てなど、市民が主体となってその土地にあった活動をしていくには、ある程度の専門的な知識や技術が必要となると思う。また、第三者の目（行政担当者？）も必要。また、地域でそのような役割を誰が担うのか。平等に順繰りにやれるようなものではないので、その辺りが難しい。 ● 地域防災力を活かして、災害弱者を救える体制を、他の地域の活動も調べたり、交流することで、「地域力向上」を図って欲しい。その為には、行政との交流が大切だと思います。これから増々高齢化が進む中で、今後は市民・行政相互の見守りにより防災・防犯につながるような取り組みに力を入れてほしい。
【現状と課題（提案）】 ① 市民の意識と交流	● 海外からの観光客もこれから増えることが予想されるので、観光ガイドでは足りない分を一般市民で補ってはどうか。例えば、鎌倉市民と一目で判るマークや、「英語OK」「中国語OK」などのマークを付けるなど。 ● 旧住民（比較的高齢者）と新住民（比較的若年層）のふれあい、コミュニケーションができていない。



	● 行政に頼らない組織を作り、自分達で考え実行して行くことが重要である。 ● 最近、自治会も子ども会もないので隣近所の付き合いが全くない。周囲に歳上の世代が多く苦情ばかり頂くので、子育て世代としては肩身が狭い。いろいろな年代の人との交流は必要だと思う。 ● 市内に居住する鎌倉市職員が、仕事とは別に、率先して自分が居住する地域で自主活動を行い、住民相互間のコミュニケーションの活性化に努めてほしい。ご近所の市役所勤務の住民が横を向いては、「市民力」「地域力」などといわれてもまわりの住民は白けてしまいます。 ● 自立した市民力が必要であり、地域連携が大事である。連携しやすい環境づくり→集まる場所があり、子ども～老人が集える事が大事、得に高齢化が進んでいる鎌倉市では、これからはお互いに助け合うコミュニケーションを育てる事が大切である。 ● 世話役の存在は欠かせないと思う。 ● 自治会の役員にこだわることなく、誰でも参加して何でも話し合えるような場があれば、地域の人々との交流と親睦などに有効だと思う。 ● 個々に関心事が違うので、活動に無関心な人も多いので難しい。 ● 何ととっても、まず隣近所の融合と協調がないと地域力を生かすことができないと思う。お付き合いの度合いは個々の任意と思うが、顔が合った時の通常の挨拶ぐらひは、決して欠かすものではないと思う。必ずしもその状態になっていないと思うので、お互い気をつけたいものだと感じている。 ● 鎌倉を好きな住民は多いと思うが、では実際に市民として地域住民として何ができるかを考えてみると、自分発信ではなく市からの受け身の情報で対応している人の方が圧倒的に多いと感じる。あまり構えないで思ったことをありのままぶつけ合って行くところから新しい発想や共通の認識が生まれてくるのではないだろうか。 ● いずれも人がポイント、多くの人は人任せであるが、引っ張っていく人がいれば、協力したいという人が多い、リーダー的存在の活用とその人をサポートする体制が必要だと思います。 ● 小学校保護者の年代が、地域で生きているという意識がとても低くなっていると思う。こどもたちをお互いに見守り育てていこうという意識や地域とのつながりを大切にしていこうという意識がもっと必要。災害時にも役に立つ。現在、こどもたちが地域を意識しないまま成長している気がする。見守り隊やご近所に挨拶をする、地域の美化活動に参加する、など未来を創るこどもたちを地域活動に巻き込んで地域人としても育てていく工夫がとても必要だと思う。
【現状と課題（提案）】 ②地域（自治会・町内会）のあり方 ・新たな組織（仕組み） 高齢者から若者まで ・新たな交流活動の場 情報交換	● 鎌倉市は異常なほど保守的な町です。多様化し変化する時代に若い市民の意見を積極的に聞き入れる環境が必要です。そのために、自治・町内会に、高齢者以外で話し合う青年組織を作ることが必要だと思います。 ● 公会堂に、数人程度は入って手軽な料理講習会ができる台所があると、老若男女が楽しく知り合える機会が作りやすいと思います。 ● 最近行われる「防災訓練」や年中行事の一つ「市民運動会」等の場を活用し参加者同士の連帯感・連結力・協調度を強める場にしていけばいい。 ● 自治町内会とは別に、地域のまちづくりを考え実行するフレッシュな組織が必要（住民主導が望ましいが、行政の指導もある面必要）。地区によってはそのような組織が既にあるところもあるが、旧態依然たる地区では実質的には何もせずに黙章を目指す長老が長期に自治町内会長に居座り、地区の活性化が頓挫しているケースがあり、行き当たりばったりのまちづくりで問題を抱えているところも多い。 ● 若い世代が参加しやすいよう若いリーダーがいると良いと思う。なかなか意見を言うにくい（昔の子育てと今の子育てでは根本的に違うことが多い。男性の育児参加や共働きなどは、上の世代には理解しにくい）が、子どもが育つ環境を良くしたいという思いは皆あると思う。 ● 積極的な地域の自治会組織の構築と活用。 ● 単身者が孤立せず自然に交流がもてる地域活動があれば良いと思う。 ● 地域対抗のスポーツイベントの開催。

	● 町内会などは加入していますが、元からの地元の皆さんですべて決められ活動しているため参加しているとは言えません。気軽に参加できる形が望ましいと思います。 ● 町内会レベルでの情報交換、情報共有がもう少しうまくできればと思う。ソーシャルメディアなどの活用も一案だが、個人情報絡みの問題も出てくるので取り扱いは難しい。 ● 町内会、あるいは地域の市民グループを集って、草刈、ゴミ拾い、木の剪定、ガーデニングなどプロの方からレクチャーを受けて、月に一度でも緑の町づくりを兼ねて活動したら良いのではと思います。自分の住んでいる地域がきれいになり「市民力」「地域力」も向上するのでは…。会社員世帯の新興住宅地であると、向こう三軒両隣の付き合いは難しい時代であり、これから新たな発想での地域住民の助け合いが必要であり、そのためにも結束する機会（集会、集団活動、親交）が必要だと思います。 ● 地域活動は必要だが、どう地域の人のためになるのか、見直しが必要。現状の「町内会」「防犯活動」は、お役をやっている人の負担が大きく、受益者にはその割にリターンは少ない。現役世代を巻き込むような仕掛けと、効率良い運営を考え直す時では？ ● 地域に関する活動では、仕事を引退した方や子育てなどの手を離れた熟年層が中心になります。また、30～50代の世代はなかなか時間が取れずに、参加したくてもできないことも多いと思います。だからこそ、中高生など地域で次の時代を担う子ども達と熟年層の大人が地域の活動を通して、地元を活性化し、そして、学び、コミュニケーションの場になると良いのではと考えています。 ● 子どもの健全育成を中心とした高齢者への配慮を考えた交流など世代を越えた地域ぐるみのイベント開催。 ● 自治町内会などを活用するなら組織運営を見なおした方がよい。50年以上生活しているが相談は一度もない。 ● シルバー世代と、共働き家庭の子どもとの交流。現在でもファミサポなどの制度はあるが、個々に親しくならないと、うまくいかないという話を聞くので、シルバー世代が常駐している場所が地域ごとにあれば、学童に預けるまではいかないけど、ちょっと預けたい、見てもらいたいというときに近所のシルバー世代のお力を借りられるとありがたい。また、家に一人でお年寄りも「あそこにいけば、誰かいる！』と気軽に掛けられるお茶できるようなところがあれば、孤独死も防げるのではないかと思います。孤独死対策と、子育て支援に両立がやりかた次第ではできるのではと思います。
【現状と課題（提案）】 ③行政のありかた ・市が取り組むべき事 ・要望	● 人口も減っていくなか、新たな宅地開発は完全に禁止。 ● 空き家となる住宅の取り壊しに補助を出すなどし、「防災空間として市が借り上げ管理」、「新規居住希望者に貸地の仲介」など、行政が積極的に地域設計に関与。 ● そもそもボランティア依存の傾向があるが、少額でも労働対価を出すことは考えなければならないと思う。 ● 夏の海の問題など商業的な事柄と「地元・地域」の隔たりが大きい。市は、観光による発展よりもっと住民によりそった立場で、物事に取り組んでほしい。 ● 行政改革をとっとと進めて、「動ける役所」が出来上がれば、随分変わるんじゃないでしょうか？ ● 鎌倉で、どのようなまちづくりを進めていくのかの、ビジョンとコンセンサスを作るのが先決。そのうえで、このような方法論を議論すればもっと盛り上がると思う。 ● 市が「窓口」になり、＜情報発信・相談等＞を推進する。市民の誰かがするだろう、や、資料作りだけではなく、＜行動する市＞になることが大前提で、この件も成功する答えです。検討や理論を繰り返しても＜改善＞はありません。＜行動する市＞になることです。 ● 住んでいる住宅街が高齢者、特に認知症の人だらけになってしまい、自治会もゴミ出しも以前のようにうまくいかない。「地域力」には限界があるので、行政の介入が必要である。

	● 会社員は地域活動に参加できる時間が限られるので、行政が補助する場合は全体最適の視点での調整・指導があることが望ましいと思います。時間に融通の利く声の大きい人やグループのよかれと思ってやることが、独善にならないように。 ● 防災・景観保全を目的とした里山保全活動の為、地主等との調整を市が行う。 ● 広報に各地域情報(行事など)等を紹介してもよろしいかなとも思いました。 ● 町内会未加入者対策として行政で良い施策を考えて頂きたい。 ● 緊急避難場所としてコンビニエンスストアを利用してはいかがでしょうか。逗子市では逗子警察署の方々が定期的にコンビニエンスストアに巡回してくれています。24時間オープンしていますのでDVや変態などの行為の緊急避難場所としてコンビニエンスストアを窓口とした避難体制を整えてもよいのではないのでしょうか。 ● 行政は積極的に必要性を啓蒙し、具体的に進めるべきで、住民からのボトムアップはスキルの難しいと思う。推進委員を住民から選出してボトムアップ風に仕掛けることが必要かと思う。 ● 高齢者は自立心・自律心が第一。若い人に魅力があり、若い人が増加する町づくりを柱に。その為、借金等(負の遺産)を残さないよう、減らすような施策を。 ● 地域活動には必ず行政が絡んできます。目的を達成するためには住民と職員の相互理解が大切だと思います。また住民の要望にたいして「予算がない」の一言で片づけるのではなく、悪い習慣や悪弊(医師会との関係など)を排除して、理にかなった予算付けをし、行政は市民力に協力して欲しいと思います。 ● 市で地域にあったガイドラインを作成し実施してもらい、後日感想をフィードバックしてもらい、きめ細かい内容にして誰でもチョイスして使用できるようにして、市民力を上げる。 ● 地域の活性化のために、活動拠点の整備が必要。小学校の空いたスペースの活用をもっと検討して欲しい。 ● 頻繁に集まるための広い場所があると良いです。集まることによっていろいろなことを議論し、その中で問題などを洗い出せると思われます。現状は、なかなか気軽に集まることができず、結果として地域のつながりも希薄になっていると思います。 ● 言うのは簡単だが、この歴史ある町では仕組みが旧態依然で、現役世代ががんばろうとすると、大変な軋轢が生じます。きちんとしたモデルを示し、世代間をどう埋めていくかの譲り合いを見せる仕掛けが必要だと感じます。
【その他：意見・意識】 	● 行政とは、あくまで個人や小さい共同体では不可能であったり非効率な事を税金を出し合うことで委託しているものと思う。小さい共同体が最低限の事をやる場合や行政組織が存在できない場合、「市民力」「地域力」で全てを行うことになるのだろう。そして近年の日本において国の財政能力、権力、人口が低下してきている事を思えば、行政組織が行ってきた事を「市民力」「地域力」でやらなくてはならないのは当然だと思う。 ● 防災や防犯、体調管理など普段からオープンにできる環境が整っていると、いざという時に助け合えるのではと思います。 ● 最近の災害を見る時、地域の日頃の交流の大事さを感じます。 ● 今は仕事の関係でなかなか参加できませんが、町内会役員会や日曜日の町内クリーンデーに参加しています。 ● 鎌倉市民(住民・納税者)として、地域・自治会(町内会)の運営に協力すると共に、全市にまたがる案件(子育て支援、公教育の質的向上施策等)等に対しては市議会(議員)との協同で参画したい。 ● 現状の自治会関連の活動と広町緑地の活動で目いっぱいです！ ● 「市民力」「地域力」という言葉は抽象的で人それぞれで「思い」が異なります。もっと具体的な名称を使うべきです。まず「市」と住民との信頼性を構築すべきでしょう。 ● 市民は24時間、365日鎌倉で暮らしているわけではなく、おそらく、平日昼間は市外にいる方が多数ではないだろうか。そんな条件で活用できる「市民力」とは何かを明確にする必要があると思う。

- 市民力、地域力は大切だと思います。市民力・地域力UPが政策に組み込まれてくるときに、行政の成果評価の為に、市民活動が、活動していることが目的となったり、形を整える事が目的になってしまう事を懸念します。成功という2文字に縛られないように。
- 地域活動は大切で、防災、防犯なども積極的に取り組む必要のある課題とは思いますが、地域活動イコール防災、防犯のような問いかけには疑問をもちました。また、行政がやること、市民が有償でやる、ボランティアでやることなどはっきりしていくことが必要と思われます。

【地域のつながり推進課】

「市民力・地域力」についてたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。

まちづくりに対し意識の高いモニターの皆さんへのアンケートでしたが、多くの方が地域での活動について前向きに考えており、まちづくりには市民の皆さんが主体となり、自らの力で取り組む必要があると感じていることがよく分かりました。

いただいたご意見は、地域での活動や市民活動が活発に行われるように、これからの地域コミュニティや地域活動への取組に生かしていきます。



【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2505

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp

